



第116号

2014-2015年度 主題

国際会長：Wichian Boonmapajom “Mission with Faith”
 「信念のあるミッション」
 アジア会長：Edward K. W. Ong “Through Love, Serve”
 「愛を持って奉仕しよう」
 東日本区理事：渡辺 隆 「原点に立って、未来へステップ」
 湘南・沖縄部長：今城高之 「一人ひとりが愛と平和の種をまこう！」
 クラブ会長：辻 剛 「初心に帰り、世のため、人のため」
 —喜びと楽しみを求めて—



今月の聖句

「主はわたしに油を注ぎ／主なる神の霊がわたしをとらえた。わたしを遣わして／貧しい人に良い知らせを伝えさせるために。打ち砕かれた心を包み／捕らわれ人には自由を／つながれている人には解放を告知させるために。」

イザヤ書 61:1

12月本例会

日時：2015年12月17日(木)

18:30~20:30

場所：湘南とつかYMCA

報告者：横田孝久

受付開始 18時00分~

第1部 18:30~19:30

クリスマス礼拝

説教 日本バプテスト同盟

大師新生教会

益 巖 牧師

第2部 19:45~20:30

祝 会

「平和」すべての人が一つとなるように」

*祝会参加費は、1,000円です。

<今後の予定>

2016年

1月9日 在京ワイズ新年会

*会場：桜美林大学多摩アカデミーヒルズ

*会費：5,000円

1月12日 事務例会

1月16日 横浜 Y-Y's 新年会

18:30~21:00

会場：Hotel PLUMM

会費：6,500円

1月22日 日本例会 (クラブ総会)

会場：かけはし都筑

1月30-31 日部長沖縄公式訪問

「憎しみの連鎖」を断ち切ろう

今城 高之

クリスマスを迎えようとしているこの時期に思い出されることがあります。私たちが2度目の欧州駐在でブリュッセルに赴任した年の夏に所謂「湾岸戦争」が勃発し、血なまぐさい映像がTVから流れる毎日でした。その年の12月のある日、間もなくクリスマスの休暇が始まるようとしている時、私はその年最後の会議を終えジュネーブ空港でブリュッセル便の搭乗案内を待っていました。私の隣には、アラブ人と思われる若いカップルが、楽しそうに談笑しながら同じように飛行機を待っていました。私と目が合った二人が返してきた微笑みを忘れません。そんな折、軍服に身を包み、軽機関銃を手にした屈強なスイス兵二人がそのカップルの前に立ち止まりました。そしていきなり、二人に銃を向けるではありませんが。一言の言葉も交わさず、しかも、ニヤニヤしながらです。銃口で、二人に立ち上がり、手を挙げるよう指し示しました。それまで楽しそうに笑みを交わしていた二人の顔が引きつります。隣にいた私も背筋が凍るのを覚えました。それから数分間、兵士たちはパスポートやドキュメントをチェックしたりしていましたが、その間も彼らの顔からはニヤニヤは消えず、かつ、互いに軽口をたたいたりしてしていました。兵士達には、時節柄もあって、当たり前前のパトロールであったかもしれませんが、若いカップルにとっては、耐え難いひと時であったことは、兵士たちが何もなかったように立ち去った後の二人の表情からも明らかでした。楽しい休暇を控えた帰郷かバカンスの旅は、恐らく、とても不愉快な旅になったことでしょう。

実は、こういった情景は、欧州中の空港、駅、街角で日常的に繰り返されていたものです。きっと今も行われているでしょう。それも、世紀を超えてです。私は、頻発する様々なテロ行為を容認するつもりは全くありませんが、その裏には長年にわたる様々な「憎しみ」が積み重なっていることも忘れてはならないと思います。

神様が私たちの罪の贖いとして、その御子を世に下されたことを覚えるクリスマスを迎えるにあたり、私は、すべての人々が、憎しみの連鎖を断ち、互いに愛し合って生きることでできる世の到来を心より祈ります。



With best wishes for Merry Christmas

主は国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。彼らは剣を打ち直して鋤とし／槍を打ち直して鎌とする。国は国に向かって剣を上げず／もはや戦うことを学ばない。

前月データ

例会出席	20名	在籍会員数	18名	各種記録	前月	累計
メンバー	16名	月間出席数	17名	使用済み切手	0g	100g
ビジター	4名	メーキャップ	1名	プルタブ	3.4kg	10.4kg
ゲスト	名	月間出席率	94%	スマイル	円	35,922円

<11 月本例会報告>

日時:2015年10月23日(金) 8:30~20:30

参加者:相賀、今城H・T、岡崎、岡田K・M、久保、
鈴木K・S、田中、辻Ts、生井、林S・M、福島、横田
ビジター:堀江和広、工藤大丈、峰岸友彦、中道幸子(東京
ベイサイドワイズメンズクラブ)

社長の開会点鐘、ワイズソング・信条に続き、本日のゲストの紹介に続き、会長挨拶があった。「東京ベイサイドワイズメンズクラブはチャーターが2014年9月20日自分も出席した。現在の在籍メンバー数18名、平均年齢が44.1歳、横浜つづきクラブは今年ついに70、4歳に・・」とこの余りのヒラキに困惑した会長の挨拶が印象的でした。また、1月22日(日)実施された都筑区災害ボランティアネットワーク主催の大江浩さん(日本YMCA同盟)の講演の一部としてボランティアネットワーク拡大、被災者は勿論であるがボランティアの心のケアが今後の課題である」など有意義なお話だった由。その後相賀チャプレンによる「今月の聖句」と祈禱がありました。また仕事の関係で遅れていた工藤会長が来られ「都筑クラブの例会と一緒に有効な時間を持てた事」へのお礼と「本当は全員で来たかった」とも述べられ、本日のメインイベントである堀江和広氏による卓話が披露された。「メンバー増強」`東京ベイサイドクラブ設立秘話と題して始まった。初めにパワーポイントによりクラブのチャーターナイトから現在にいたるまでの活動が写真によって紹介された。スピーカーからの音が小さく聞き取りにくかったが活動内容は充分伝わった。私も卓話の内容は多少記録をしましたが、このクラブを知るために新メンバー募集のリーフレットを読んでいたら、まとまった文章があったので紹介しておきます。「わたしたちは、2014年9月にこども園、グランチャ支援、地域以遠、YMCA支援を目的として設立されたNPO団体です。ワイズメンズクラブというYMCAのサポート団体で、こども園園児(含む卒園児)のお父様を中心としたメンバーで構成され、週末を中心に活動しております」とあり、クラブを作る為のコミュニティー活動、単なる「おやじクラブ」と違い世界的な視野をもった団体であるという自負、また毎月一回開催される太陽のマルシェ(十勝の野菜、ワイン等を販売し資金調達)ブースのお誘い等の積極的な活動が現在のクラブを支えているように思います。最後に各種アピール:2016・1/16(土)合同新年会、12/1(火)Y-Y's協議会、12/8(火)クリスマス・事務例会の件の詳細の話しがあり報告・連絡事項等では生井担当主事からオンライン調査のお願いの報告があり本例会は閉会。



懇親会はゲストの4名の方も加わり「ガブリエル」にて行い、いつまでも笑いの絶えない楽しい、楽しい会となりました。(久保 勝昭 記)

<12 月事務例会報告>

日時:2015年12月8日(火) 18:00~22:15

会場:田園都筑教会

出席者:今城 T・H、岡崎、岡田 K・M、久保、鈴木 S・K、辻 Ts、
林 S・M、福島、

ゲスト:高松満明氏(ゲストの高松氏は鈴木ワイズの友人で、夏のBBQ例会にも参加された方です。)

事務例会次第に沿って、協議・報告・連絡・確認事項とす
ずめられました。

協議 1) 人事の件

次々期会長の立候補者はいなかったため、選出方法について協議。会長経験者の中で、2回会長職を受けていない2名に先ず要請する。(継続審議)

2) 合同新年会役割分担等

参加者数の把握を、井上担当主事と林部書記が行い、新年早々に現地ホテルで細かい打合せをする。プログラムは、今城部長の提案で進める。準備事項を競技し、社長が整理したものを会員へ連絡する。

3) 10周年記念各チームのスケジュール表に関する件

・記念誌(鈴木Sチーム)2016年5月完成目標に、寄稿依頼・編集作業を進める。祝辞依頼者に設立準備委員長久保ワイズを加える。

・記念例会(今城Tチーム)林S提案の「東日本大震災被災地支援の今後を考えるシンポジウム」の趣旨・骨子が説明され、YMCAの今後の方向性も結論がでる時期の開催で、記念例会にふさわしいと賛同された。

・新規事業A(久保チーム)本日の横浜北Y歌声広場に60名の参加があった。新規歌声広場を検討したい。

・新規事業B(今城Hチーム)南相馬市原町聖愛保育園宛に手作りのアドベントカレンダーを贈った。このチーム名称を「TKB」(つづき可愛いばあちゃんず)とする。

4) その他 半年報、国際会長選挙、区理事候補者推薦、各種献金依頼等について社長から説明があり、意見交換したが、改めて社長から会員へ諮る事とした。

報告・連絡・確認事項

・沖縄公式訪問の日程・参加者再確認

・2016年3月本例会日は、受難日と重なるため、3月24日木曜日に変更する。

・各主CS活動担当者から月例報告。

・3月4月の卓話者候補について検討。



「クリスマス夕食会」は感激の連続でした。ゲスト高松氏持参の銘酒、ビール、ワイン、焼酎とそれぞれの皿に盛られた手料理が雰囲気を一層ひきたたせました。会議2時間、夕食会2時間強と盛りだくさんの12月事務例会でした。

<第71回Y-Y's協議会報告>

日時：2015年12月1日(火) 19:00~20:20

場所：横浜中央YMCA

出席者：18名(当クラブ出席者：山添訓、生井知三、今城高之、林茂博、辻剛の5名)

1.川崎Y/佐藤達哉氏の司式により開会礼拝を行った後、協議に入った。

2.挨拶

(1)田口務総主事

①国際・地域協力募金の件

- ・カンボジアのストレートチルドレンの自立支援、
- ・ミャンマーでの医療m支援、
- ・タイでの人身売買の危機にある子どもたちへの自立支援など横浜Yの取り組みについての報告。

②オンライン調査の件

- ・世間のYMCAに対するブランディング・イメージがばらばらである。これを統一したいので1万人の方を対象にアンケートをお願いしている。オンラインでもペーパーでも対応可能なのでご協力を。

③チャリティーゴルフの件

- ・子ども支援(BAPY)基金のためのチャリティーゴルフを横浜Yとして初めて来年2月15日戸塚カントリークラブで開催するので、奮ってご参加を！

(2)今城高之部長(部長報告の内容も含む)

就任して5ヶ月が経過、この間、部会、チャリラン、区役員会など様ざまなスケジュールをこなしてきた。未解決の課題としては次年度の次期部長の選出、部研修会の実行計画作成などがあり、今後精力的に取り組んでまいりたい。

3.協議

(1)YMCA-Y's新年会について

・林茂博書記より昨日ワイズドットコムにてご案内を発信したことを報告。奮って参加を呼び掛けた。日時および場所は1/16(土)、HOTEL PULAMM、会費6,500円など説明。

・別件として、来年のワイズ国際大会(台湾)ユースコンボケーションへのYMCAからの参加を要請。

(2)横浜YMCA会員大会について

井上幸一部担当主事より別紙資料により報告があった。横浜ク/金子会長がより多くのワイズの参加を呼び掛けた。

4.各クラブ報告

①基本的には部報を参照されたい。

②横浜：クラブ創立85周年記念例会を内輪で12/10、広東飯店にて開催。クラブ会長にご案内するのでご出席乞う。

②横浜つづき：来年5/13で創立10周年。記念誌の発行、記念例会、会員増強、クラブ会則見直し、記念事業開発、クラブ内親睦促進の6チームを立ち上げ現在様々な企画を検討中。記念例会の日時と場所は5/21(土)、於：富士山YMCAで決定済み。

③とつか：次年度部会は三浦ふれあいの村で一泊二日。

(注)横浜/金子会長が再確認を求めた。

5.YMCA報告

①国際・地域協力募金(生井知三担当主事)

②光州派遣 短期研修団報告(井上幸一担当主事)：あちこちで親日的な言葉をかけられたのが印象的であった由。

③第18回チャリラン報告(生井知三氏)：参加チーム/123、収入/約733万円、支援金/約569万円。ワイズの協力に感謝。

④全国リーダー研修会、東日本YVLF報告(長田光玄担当主事)：テーマ「今、ユースボランティアに求められるもの」、横浜Yより6名参加。

⑤リーダーズデイ報告(吉永貴弘担当主事)：総勢70名が参加し過去最高となった。ユースのつながりを深める良い機会になった。

⑥BAPY報告(井上幸一担当主事)

6.次回の予定：2016年3月1日(火)、19:00~20:30、横浜中央YMCA、担当/横浜ワイズメンズクラブ

(辻剛記)

<TKB(Tsuzuki Kawai Ba-chans)の活動について>

女性メンバーによるTKBの活動として南相馬の聖愛保育園にお誕生日カードをお送りすることが決まりましたが、2016年の4月からということで、それまで待ちきれないBa-chansは先方のご意向を中野祐子さんに聞いて頂いた結果「アドベントカレンダー」を贈呈することにしました。



11月19日、20日に都筑教会に集合して林理子ワイズの指導のもとに大きな緑の紙をツリーの形に切ることから始まり25個の窓を作り(実は26個作ってしまって後で大慌て!)一つ一つに聖家族やクリスマスらしい絵を貼りました。

理子ワイズの魔法の箱には様々な切り抜きが山のように入っていて、それ以外にもかわいいシールやキラキラ星などびっくりポンの玉手箱!ツリーにはサンタやトナカイ等のシールをいっぱい貼り、仕上げは鈴木恭子ワイズの神技による可愛いベルの取り付けです。どうぞ剥がれませんように、潰れませんようにと祈りつつダンボールでしっかり包装してお送りしました。

数日後に中野祐子さんから無事受け取ったとのお礼状が届き、「園長先生のご方針で自然のもの、手作りのものがあふれている園ですので、とてもよく似合っていてクリスマスを迎える喜び、楽しさが増し加わった感じでした」と記されていてBa-chansは本当に嬉しく思ったことでした。

園長先生が腰を痛められて大変お辛いご様子、神様のお癒しをお祈りしますとともに聖愛保育園の皆さんの上にク

クリスマスの恵みが豊かにありますようにとお祈りいたします。色々とお世話下さった中野祐子さんに心から御礼申し上げます。ますます忙しくなるアドベントの時、中野通彦先生と祐子さんの上に主の祝福が豊かにありますようにお祈りいたします。(今城 宏子 記)

<災害ボランティアコーディネーター養成講座>

開催日時:11月22日(日)14:00~16:00

講師:大江 浩氏(日本YMCA同盟法人事務局長)

演題:「災害とボランティア～災害支援の現場から」

参加者:26名(当クラブ参加者:社会長、鈴木S、横田、林M・S)



去る10月21日に設立された「都筑区災害ボランティアネットワーク」主催の初イベントとして開催された講座に大江さんを招き、阪神・淡路大震災から始まる豊富な体験に基づく様々な課題を語って頂きました。クラブ設立当初の渡辺誠二北Y館長が情熱を注いだ「災ボラネット」の設立がようやく実現し、YMCAとの協働で新しいCS活動の分野が開けました。(林 茂博 記)

<中央YウェルカムフェスタにアスタPCと参加>

11月23日(祝・月)に開催されたウェルカムフェスタに今年も参加しました。アスタPCは、メンバーのSST(社会生活訓練)の場として、毎年全員参加の行事としています。メンバーは、館内の各種出し物を楽しみにしており、会場で写真を撮って、すぐにカレンダーや缶バッチに画像を取り込んで販売するなどの活動をしています。



可愛いお子さんの缶バッチやお孫さんと一緒にカレンダーは、横浜クラブのみなさんにも協力して頂いております。(林 茂博 記)

<ささえ愛週間展示に参加>

12月2-5日に区役所区民ホールで、ささえ愛福祉週間のイベント、都筑区社協会員の活動PRパネル展に今年も

参加しました。毎年他団体のPRパネルは工夫を凝らして、見栄えがよくなっていますが、当クラブのパネルは、ここ数年同じものを展示しているため、次回には新しく作り直す必要があると痛感しました。



(林 茂博 記)

<横浜北YMCAだより>

12月は、国際地域協力募金活のための街頭募金や北YMCAクリスマス会、冬季の講習会・キャンプが予定されています。今冬も多くの子どもたちを迎えてプログラムが予定されています。ご支援お願いいたします。さて先日、横浜北YMCAが担当している菊名小学校放課後キッズクラブが文部科学大臣賞を受賞しました。子どもたちの放課後の安全な居場所づくりや全人格的な成長の支援、働く親の家庭支援のために取り組んできたことが、2015年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰の受賞として認められました。

この賞は、未来を担う子どもたちを健やかに育てるために、学校、家庭、地域が連携協力し、社会全体の教育力向上に向けた取り組みの一層の推進を図ることを目的に、地域全体で学校や子どもたちの教育活動を支援する活動のうち、その内容が特に優れ、他の模範と認められたものに贈られます。菊名小学校キッズクラブでは、横浜YMCAが推進するキャラクターディベロップメント運動の取り組みやいじめについての学び、防災体験、地域と協働して行う行事などの取り組みが評価されました。文部科学省で12月3日に行われた表彰式では、全国136の団体とともに表彰されました。

今後も一人ひとりを大切に、しっかりと向き合い、地域や学校、保護者と連携して子どもたちの成長を支援していきたいと考えます。

《1月の主な行事》

- 1月12日 うたごえ広場
- 1月16日 YMCA-ワイズ合同新年会
- 1月23日 北Y運営委員会

以上

(横浜北YMCA 館長 生井知三 記)